

# 第3次天草市総合計画を策定

総合計画は、どのような自治体を目指すのか、その目指すべき将来像を定め、その実現のために必要な計画に基づいて政策を行っていくことをまとめたものです。今回、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症などの社会課題に対応し、市民と行政がつながり、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた宝の島“天草”の実現に向け、第3次天草市総合計画（令和5～11年度）を策定しました。

図 政策企画課 ☎27-5052

基本構想 令和5年～11年度（7年間）

前期基本計画 令和5年～7年度（3年間）



将来像

## ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”

本市には、人情豊かな“ひと”と美しい自然や豊富な農林水産物、受け継がれてきた歴史や文化など、多くの誇れる“地域資源”があります。

その中でも一番の宝である“ひと”が地域を見つめ直し、何事にも他人事ではなく“自分のこと、みんなのこと”という気持ちを持つことが大切です。“ひと”が多様な価値観を認め合いながらともに手を取り合い、ともにチカラを合わせ、ともに地域資源を磨き上げていくことで、より光り輝く魅力ある宝の島“天草”で日々暮らせることの幸せを実感できる姿を目指します。そして、誰もが天草に誇りをもち、心豊かに暮らすことができ、いつまでも住み続けたいと思える天草市を創っていきます。

## 市政だより あまくさ

3 2023  
月号

主な内容

人のうごき		1月末日現在	
1月中の異動		※（ ）内は前月比	
人 □	74,914人 (187減)	出生	20人
男	35,388人 (72減)	死亡	198人
女	39,526人 (115減)	転入	93人
世帯数	36,239 (75減)	転出	102人

### 問い合わせ先

本 庁 天草市役所 ☎23-1111  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支 所 牛 深 ☎73-2111・有 明 ☎53-1111  
御所浦 ☎67-2111・倉 岳 ☎64-3111  
栖 本 ☎66-3111・新 和 ☎46-2111  
五 和 ☎32-1111・天 草 ☎42-1111  
河 浦 ☎76-1111

### 天草市公式 SNS



☎…郵送先 ☑…申し込み先 ㊟…問い合わせ先  
[M]…メールアドレス ※申請書などは㊟に備え付け。

- 2 目次/市長コラム
- 3 第3次天草市総合計画を策定
- 7 天草文化財探訪/天草見どころ図鑑
- 8 いきいき健康
- 10 熊本県議会議員一般選挙
- 12 インターネットから各種証明書の交付申請ができます
- 13 暮らしの情報
- 26 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み〜つけた!
- 27 ハッピーバースデー
- 28 宝島のわだい
- 30 キラリ天草人
- 31 市民のひろば
- 34 お出かけ情報/潮汐
- 35 休日在宅病(医)院  
水道修繕当番店/献血日程
- 36 令和4年度天草西海岸  
夕陽・夕景フォトコンテスト入賞作品決定

## 市長コラム

### ～ 若者が残り帰って来られる天草に ～

Mayor's  
Column



3月は、中学や高校を卒業した多くの若者たちが進学や就職で天草から巣立っていく希望に満ちた月であり、同時に私にとって一番寂しい月でもあります。どうしたら若者が天草に残ってくれるのか？帰って来てくれるのか？市として何かできることはないか？自問自答の日々です。もちろん広い世界で知識を磨き交流を広めることは大切な事です。ただ、将来その学びを故郷に還元してほしい。そう願うばかりです。

今、天草の高校生たちは熱く、天高の「グロ

ーバルリンクオンライン」でのアジア1位や拓心高の「ソーシャルビジネスプロジェクト交流フェア」での文部科学大臣賞受賞、天工の「高校生ビジネスプラン・グランプリ」での5,000チーム中のベスト20選出など、他のどこの高校にも負けない成果を残しています。

天草を巣立っていく人々には、ここで育ったことに自信と誇りを持ってほしい。そしていつか帰って来てくれる天草にしたい。その思いを市民の皆さんと共有したいと思います。

# 私たちが目指す 天草市の将来像 ともにつながり 幸せ実感 宝の島 "天草"

市民と行政がともに知恵を出し合い、ともに創るまちづくりの将来像です。

## 将来像を実現するための 5つの理念 (目指すこと)

将来像の実現に向け、市民と行政が共有する理念です。

## 19のありたい姿

理念に基づく、7年後の理想の姿です。

## SDGsを 踏まえた取り組み

第3次総合計画では、各政策がSDGsの各目標に結びついていくことを明確にし、SDGsの実現に向けて取り組んでいきます。



## ともに学び ともに育つ まち

**ありたい姿** 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や、課題解決に向けた市民活動が活発に行われています

**ありたい姿** 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています

天草の将来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともに学び、ともに手をたずさえ、地域のつながりを深め、一人ひとりが自ら考え行動し活躍できるまちを目指します。また、誰もが歴史と文化を感じ、多様性を認め合い、感謝の気持ちを持ち、天草に愛着と誇りを持つまちを目指します。

**ありたい姿** 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっていきます

**ありたい姿** 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されています

## つながり 稼げる まち

理念



天草の農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、域内経済が好循環する新たな経済社会の仕組みを生み出し、「なりわい」を創出するとともに、誰もが安心して働ける場所があるまちを目指します。

**ありたい姿** 良質な農林水産物が生産され、産地力(生産者数×量)が維持・向上されています

**ありたい姿** 魅力ある天草産品が作り続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっています

**ありたい姿** ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所があります

**ありたい姿** 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられています

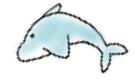
## やさしさと 安心の まち



天草の未来を担う子どもたちを育み、私たち一人ひとりがいつまでも元気に暮らし、お互いにやさしさと思いやりの気持ちをもち、地域ぐるみで助け合い、支え合い、安心して住み続けられるまちを目指します。



## 自然と 共生する まち



天草の恵まれた自然を愛し、学びを通して自然環境の保全や自然資源の活用に取り組み、自然と共に生きるまちを目指します。また、様々な分野と連携した取り組みにより、脱炭素社会の実現に向けたまちを目指します。

**ありたい姿** 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われています

**ありたい姿** 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われています

**ありたい姿** 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています



**ありたい姿** 市民が生き生きとやさしさにあふれた地域で暮らしています

**ありたい姿** 市民が安心して暮らせる環境ができています

**ありたい姿** 天草での暮らしが共感され、多くの人が移住・定住し暮らしています

**ありたい姿** 安心して子どもを生ま育てられるまちができています

**ありたい姿** 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 挑み続ける行政経営に 取り組むまち



行政は、市民の視点に立ち、社会のあらゆる変化に部署を越えて総合力で対応するとともに、職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる組織づくりを目指します。また、安定した財源の確保と的確な投資による健全な財政運営を目指すとともに、効果的かつ効果的な行政システムにより、挑み続ける行政経営を目指します。

**ありたい姿** あらゆる社会変化に対応する行政運営ができています

**ありたい姿** 高い経営意識を持った財政運営ができています

**ありたい姿** 市有財産が効果的かつ効果的に活用されています

前期基本計画では、ありたい姿を実現するため、40の政策を部署が連携して横断的に取り組んでいきます。



※展示しているものは複製です。

「グーテンベルク印刷機 (活版印刷機)」は、15世紀(1447年)に、ドイツ人のヨハネス・グーテンベルクがぶどう酒の搾り機をヒントに発明したもので、1文字ずつ凸型に彫られた活字を組み合わせて印刷するのが特徴です。当時の日本では木版印刷が主流であったため、活字を使った印刷様式は画期的なものだったと考えられます。この印刷機は、1582年、日本人として初めてヨーロッパに派遣

された天正遣欧使節の少年4人が帰国する際に持ち帰ったものといわれており、キリスト教の宣教師を養成するコレジヨ (大神学校) に設置されました。1591年にコレジヨが島原 (加津佐) から天草に移った後、1597年まで「天草本」と呼ばれる布教のための印刷物や平家物語などが出版されたことにより、ここ天草で南蛮文化が花開きました。

## 天草 文化財 探訪

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。今回は、天草コレジヨ館の収蔵資料を紹介します。

図文化課 ☎3216784

## 天草 見どころ図鑑

市の文化財に指定されている上在郷区の延命地藏尊。地域の人たちから大切に信仰されており、この地蔵にまつわる民話が今も語り継がれています。

地蔵がまつられている建物の両脇には藤棚があり、4月中旬から下旬にかけて美しい花を咲かせ、参拝者を癒しています。

### ★ここに注目

近くの井戸から湧く水は「延命水」といわれ、誰でも水をくむことができます。



延命地藏尊の藤棚 (佐伊津町)

## 市総合政策審議会委員の策定に向けた思い

第3次総合計画の策定にあたっては、市政アンケートや各地区での意見交換会、パブリックコメントなどにより、市民の皆さんからさまざまなご意見をいただきました。

また、市から委嘱を受けた12人の総合政策審議会の委員が、昨年度から行った計10回の審議会で、策定に向けた審議を重ねました。その中から、2人の委員の想いを紹介します。



NPO法人子育てネットワークの代表 澤田福美さん (大浜町)

### つながりを実感でき、みんな子どもを育てる天草市に

日々の活動の中で多くの親子と関わっていて、その経験を市の政策に活かせたらと思いを委員を引き受けました。天草市は食や自然が豊かですが温かく、子育てをしやすい環境だと思いますが、本渡地域に人口が集中しているため、子どもを育てる環境は地域によって格差があると感じ

ています。また、近所との関係が希薄で、そのことが子育て世代の孤立につながっています。市の子育て支援は、妊娠・出産から子育てまで切れ目のないサポートが整ってきたと感じていますが、貧困家庭への支援や雨の日に子どもが自由に遊べる場所がないなど、まだまだ課題があります。第3次天草市総合計画は、子育て中の人がどのようなことに困っていて、どのようなことを必要としているのか意見を出し、何度も会議を重ねて完成させました。計画の策定に直接関わったことで、私たち市民の生活に密接なものだということが分かりました。目指す将来像の中にあるように、市民一人ひとりが、つながりを感じて生活できる市になれば良いなと思います。市民の皆さんが積極的に声をあげ、行政と一緒にやってより良い天草市を創ってほしいですね。

### 天草に愛着を持ち、積極的な魅力の発信を

天草は自然が豊かで、一次産業で勝負できる資源が豊富にあり、地域のひと気兼ねなく話すことができます。しかし、そのことが当たり前になり、魅力を活かしていないことがもつたのではないかと感じています。私は10年前に帰郷して家業を継ぎました。そこで感じたことは、天草は何か新しいことをしようとしたときに周囲の協力が得にくく、そして積極的に外にアピールをしようとする人が少ないです。市内

株式会社 江良水産 代表取締役社長 江良浩さん (久玉町)



の需要も少ないということだと思います。この現状を改善していくためには、事業を営む私たちも地域と情報共有をしながら、お客さんに満足してもらえらるものを届けることが大切だと思います。審議会では、これまで関わりが少なかった他分野の人たちの想いを知ることができました。また、市内で事業を営む者として、現場の想いや疑問を直接市に伝えることができ、さまざまな分野における想いや期待が総合計画の策定に活かされていると感じています。天草の魅力のものを外にPRするためには、行政の発信力も重要だと思います。無難にはなくチャレンジする天草市になってほしいですね。そして、市民一人ひとりが天草に愛着を持ち、魅力が市民と行政がともに発信できるようにすることで、より良い天草になっていくと信じています。